



祝・開校50周年

七小だより

<https://www.hino-ky.ed.jp/e-hino7/>



No.11

令和6年2月1日
日野市立日野第七小学校
校長 大西 浩之
TEL 042-583-3907



シャーペンの使用許可！？

校長 大西 浩之

先日は今年度最後となる学校公開に多数ご来校いただきありがとうございました。学期に1回ではありますが、子供たちの1年間での成長した姿をご覧いただけたのではないのでしょうか。ご意見・ご感想は右のQRコードから受け付けております。



さて、子ども基本法が施行されてから間もなく1年が経とうとしています。本校でも様々な場面で子供たちの意見を聞きながら教育活動を行っています。昨年6月、6年生からシャーペンの使用許可を求めるプレゼンが教員の会議の場で行われました。それから半年が経ちましたが、これまでの間でお試し期間を設けたり、児童や教員へのインタビューをしたりしながら使用ルールを見直し、先月、再度全教員の前でプレゼンをしました。その結果、七小として「シャーペンの使用許可」を出しました。また6年生は、このことを皆に知ってもらうことも使用する上で必要と考え、下級生に向けては全校朝会で伝え、保護者向けにはお知らせを作成しました。教員顔負けの用意周到さに驚かされました。これから子供たちと一緒に、子供たちのための学校づくりをしていきます。

(プレゼンの様子は学校HPの学校日誌よりご覧いただけます)

お知らせ

6年生代表より
シャーペンについて

1月23日から5、6年生は学校でシャーペンを使うことができるようになりました。

備考

- ・シンプルなデザインの物や、ご家庭で使っているものを持たせてください。
- ・学校にシャーペンを持ってこられるのは一本までです。鉛筆も数本ご用意ください。
- ・シャーペンの芯は、Bや2Bなどの滑り過ぎない硬さです。
- ・シャーペンの管理(失くす、壊す)は自己責任なので高価な物は持たせないでください。

※シャーペンは必ず持ってこなければいけないものではありません。

6年生の取り組みで、禁止されていたシャーペンを
使えるようになりました。
七小は、子供たちの意見を反映し、
これからもより良い学校づくりをしています。

令和5年12月1日付配布の「コミュニティ・スクールについて」でいただいたご意見・ご質問(○要旨)

○子供の多様な学びになるのはいいが、情報過多により学びが疎かになったり、負担が増えたりするのは避けてもらいたい。

▶学校教育の中で子供の負担が増えることはありません。学校と地域、子供と地域のつながりが増えることで、地域も子供の学びの場となっていくことはあります。ご家庭のご理解のもと、負担のない形で地域とのかかわりも大切にしていきたいと思います。

○コミュニティ・スクールへの展開に賛成です。学校と地域が対等に近い関係で子どもたちを支えるために、地域が参画する組織の設置は必要です。通知文に記載された様々な効果が実現することを期待しております。

▶学校も保護者・地域も一体となり、子育ての当事者として子供たちに関わっていけることを願っています。ご協力よろしく願いたします。

2月の行事予定

日	時 程	給 食	学校行事等
1	A	☆	
2	A	☆	新入生説明会(坂中)・たてわり(朝)
3			
4			
5	A	☆	読書週間始・委員会
6	A	☆	避難訓練
7	B	☆	4時間授業・校内研授業(4の1)・B時程
8	A	☆	
9	A	☆	4時間授業(1・2)安全指導
10			
11			建国記念の日
12			振替休日
13	A	☆	4時間授業(1)
14	B	☆	B時程・4時間授業
15	A	☆	4時間授業(1)保健指導(4)1・2・3H家庭科室
16	A	☆	読書週間終・4時間授業(1)
17			
18			
19	A	☆	クラブ・クラブ見学(3)
20	A	☆	社会科見学(6)・5時間授業(3)
21	A	☆	4時間授業
22	A	☆	
23			天皇誕生日
24			
25			
26	A	☆	クラブ(最終)
27	A	☆	
28	A	☆	保護者会(1)
29	A	☆	災害体験から学ぶ教室・保護者会(2)

2月の目標

生活指導目標	「相手の気持ちを考えて行動しよう」 「自分から進んであいさつをしよう」
保健目標	「心の健康を考えよう」
給食目標	「楽しく食事をしよう」

○今年度の学校評価アンケートについて

副校長

今年度も残り2か月、子供たちの登校日はあと35日です。12月に今年度の学校教育活動アンケート(保護者アンケート)のお願いをし、先日まとめを配布しました。昨年度から、Home&SchoolからFormによる回答でお願いをしています。今年度は15項目の客観的な評価と自由記載で回答していただきました。ご回答いただいた皆様ありがとうございました。

七小の教育活動に多くの項目で90%以上の肯定的評価をいただいておりますが、学力、体力向上、地域との関わり、特別支援教育・学習環境について、課題が見えてきました。中でも、体力向上については、保護者の皆様からも大いなる期待もあり、具体的・積極的な施策を立てる必要を感じています。また、学習者用端末について、高学年は毎日のクロムブックの持ち帰りを基本としていますが、ご家庭における使用方法などにも課題が出されました。学校と家庭・地域との連携をとり、情報教育を推進していく必要性を感じています。詳細については、先日配布いたしました「保護者・児童アンケートの結果について」をご覧ください。今年度も残りわずかです。どうぞよろしくお願いします。

○なわとび週間について

体力向上委員会

1月24日(水)～2月7日(水)までなわとび週間です。短なわとびを通して、体力の向上を図るとともに、自分のめあてに粘り強く挑戦する気持ちを育てることを目的として取り組んでいます。

体育委員会の児童がいろいろな縄跳びの跳び方を紹介する動画を作成してくれました。各クラスでその動画を見て、縄跳びの技を確認しました。体育の授業では、なわとびカードを用いて自分のめあてを決めて、各自目標に向かって練習しています。中休みには、なわとびの練習をする児童がたくさん見られます。これからも一人一人の頑張りを認め、体力向上に取り組んでいきます。



○4年生の紹介 「みんなの幸せプロジェクト」

4年担任

4年生は1学期から総合的な学習の時間で福祉をテーマに学習を進めてきました。幸せを感じることは人それぞれ違いますが、幸せになりたいというのはみんな同じ。みんなが幸せな学校、地域、日野市にするために自分たちにどんなことができるか、みんなでアイデアを出し合っています。

1学期は、地域のいろんな方々に出会ってきました。脳性麻痺のある方、目が見えない方、耳が聞こえない方や手話サークルのみなさん。はじめのうちは、どのように話せばよいか分からず戸惑っている場面も見られましたが、お話してくださる方の明るさや優しさに触れ、子供たちはすぐに仲良くなり、自然に話せるようになりました。さらに、車いす体験や白杖体験、手話体験など、さまざまな体験学習を通して、障害のある方がどんなことに不便さを感じているか、どういうお手伝いが助かるかを身をもって学ぶことができました。「不便なことはあっても不幸ではない。不便なことは手伝っていきたい」と感想をもちました。

2学期は、点字体験をしたり、精神障害のある方のお話を聞いたりしました。また、特別支援学校の同学年の子供と中央公園のインクルーシブ広場でいっしょに遊んだり、特別支援学校へ行ってボッチャ大会をしたりしました。障害当事者を支える方の思いや願いも知り、自分たちにできることを考えました。3学期は、「みんなの幸せ」のために自分たちにできることを行動に移していきます。